

令和3年5月27日
企画財政部

島崎エリアサウンディング調査の状況報告について ～ みやづ歴史の館文化ホールの音質向上 ～

現在、島崎ウォーターフロントエリアの再開発に向けて、本年1月から宮津会館の機能代替の検討を含むサウンディング調査（官民対話）を行っているところですが、調査の中で、みやづ歴史の館文化ホールについては、（株）ヤマハミュージックジャパンから、最新テクノロジーによる音場支援システムを導入することにより、単なる音響の改善に留まらず、映画など種々のエンターテインメント等への利用が可能となるとの提案をいただきました。

市としましては、同社からの提案に加え、インターネット配信やサテライトホールなど幅広い活用が可能と考えております。

つきましては、実際の機能を検証・検討していく必要があることから、公募による市民、関係者及び専門家等に参加いただき、本システムのデモンストレーションを公開で実施することとしましたので、ご報告いたします。

なお、サウンディング調査については、引き続き市場性や実現可能性の把握に努めるとともに、事業化に向けた公募条件の整理等を進めてまいります。

記

1. デモンストレーション機器等

『音場支援システム（AFC4）』 ※天井部のスピーカーは除く

2. デモンストレーションの実施予定

- ・実施日 令和3年7月28日（水）
- ・場所 みやづ歴史の館文化ホール
- ・実施方法 一般の演奏者等を募集し、実際の演奏の中で聞き比べを行う。
- ・市民周知 広報みやづ6月号で実施のお知らせと演奏者・聴衆の募集
- ・実施経費 メーカー負担

<参考：音場支援システム（AFC4）>

AFC(Active Field Control)とは、最新の電気音響・信号処理技術を用いて、室内の響きや空間の拡がり・音量感などの建築音響の聴感印象を、自然に変化させることができるシステムです。室内の最適な響きの長さは、行われる演目によって異なります。例えばクラシック音楽には、楽音を豊かにする響きのある空間が適しており、演劇や講演会には、響きの少ない明瞭な空間が適しています。AFCは、一つの空間において、利用者のニーズに応じた多様な演目を行うことが可能となります。

